



## この先の社会を生き、創る力をつける学習

校長 高山 直也

秋も深まり、ここに来てようやく涼しさを感じるようになりました。そして世の中は野球のワールドシリーズ・日本シリーズ、日本の総選挙・アメリカの大統領選挙のニュースが席卷し、日米のビッグイベントが同時進行です。野球が楽しめて、民意が政治に反映できる国にいることをまず喜びたいと思います。



10月25日、白金小学校は「第50回全日本教育工学研究協議会全国大会 港区大会 授業会場」として、北は北海道から南は沖縄県まで、多くの教育関係・報道機関の方々に来ていただき、全クラス公開授業を行いました。Next GIGA、ICT を活用した新しい時代の教育を目指して…という大会副題がついている通り、次世代の教育を具現化し授業実践をしている学校のモデルとして公開した…という設定です。次世代の教育とは、別名『令和の日本型教育』＝個別最適な学びと協働的な学びが一体となった学習や、子供が自ら学習を進め深化させていく自由進度学習を指します。昭和の教育を受けた方々が無意識に参観すると「一体これは何だ…授業なのか…。」と疑問に思うくらい、子供たちが自由なスタイルで学んでいる、統一感の無い空間が広がります。ところが子供自身は、自分が立てた学習計画に沿って常に試行(思考)錯誤を続け、その時間のゴールを目指すので暇な時間はほぼゼロ。では、なぜこの学習スタイルが次世代教育なのでしょう。

今の小学生が世に出る時代は、経済のグローバル化は進展し旧来の価値観は揺らぎ、情報は先鋭化して溢れ、清濁混とん急速な変化に見舞われます。その中であっても、持続可能な社会の創り手となり、well-beingな社会の担い手として活躍する人材は、地球人として進むべき道を誤ることはないでしょう。その道を判断する時、また切り開く時、その人は様々な情報を統合し、様々な人と協働・思考し、自己調整しながら自らの結論を導く力をもっている必要があります。これからの学校教育は、その力を身に付ける責務を負っています。教師主導オンリーでは、自分で考え判断する力は育ちにくいです。小学校では児童主体と教師主体のバランスをうまくとり、高学年になるに従って、「学習で自走する子供」を目指します。

授業を参観した方々からは、子供も先生も明るく生き生きしている、子供にこの勉強方法はどうかと質問したらの確に答えてくれて驚いた、〇年生でここまでとは…(〇の中はどの学年もありました)、どう指導すればここまでできるのか、また来て色々聞きたい等々、嬉しい声をいただきました。でも、私たち白金の子供も教員もまだ発展途上ですので、これからも子供も教師もさらに「学びを磨き」、白金の教育を進めていきたいと思います。

野球が楽しめて、民意が政治に反映できる国を、今の子供たちが将来自分たちの考えた力で守り、世界の国々と共に発展させていく、その原動力を共に育てていきましょう。

## ～5年ぶりの全学年で行う運動会～

運動会委員長 佐々木 得人

今年の運動会は、5年ぶりに全学年が1日で開催します。オンライン視聴の時間もありますが、全学年が一丸となって応援し、異学年での絆を深めていきます。また、入学したばかりの1年生にとっては、初めての大きな学校行事となります。各学年の練習に加え、全校児童が一緒に行う全体練習もあります。さらに、6年生は、係児童としても運動会を支えます。一人一人が目標に向かい、自分の力を発揮して、大きく成長できる運動会を目指してまいります。

さて、白金小学校の運動会は、次のことを目的として行っています。

- ① 体育的な集団活動を通して、心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成する。
  - ② 児童が運動に親しみ、その楽しさを味わうことによって、体力・気力の充実を図る。
  - ③ 集団の規律ある行動に目を向け、集団への所属感を深める。
  - ④ 学校生活に変化を与え、明るく潤いあるものにし、家庭との連携を密にして学校教育に対する関心を深める機会とする。
- これらの目的を達成できるよう指導しています。また、練習が続きますので、お子さんの健康管理も引き続きお願いいたします。今年度も多くの保護者の皆様にご参観いただき熱い声援を送っていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

